

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-14 健康と共生	20130587006101	●健康と共生 II(大学生の 育児学)	和	E	大石 和 代	1年,2年,3年,4年	後期	月 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-14 健康と共生	20130587006501	●健康と共生 II(仕事と健 康)	和	E	楠葉 洋 子	1年,2年,3年,4年	前期	火 5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-14 健康と共生	20130587006901	●健康と共生 II(老いと健 康)	和	E	井口 茂	1年,2年,3年,4年	後期	火 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-14 健康と共生	20130587007301	●健康と共生 II(青年期の 健康・体力増 進)	和	E	中垣内 真樹	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-14 健康と共生	20130587007701	●健康と共生 II(障害体験 と支援)	和	E	東 登志 夫	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	～

[戻る](#)

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-14 健康と共生**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587006101	科目番号	05870061
授業科目名	●健康と共生II(大学生の育児学)		
編集担当教員	大石 和代		
授業担当教員名(科目責任者)	大石 和代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大石 和代, 中尾 優子, 荒木 美幸, 上野 美穂		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	k-oishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科5階大石研究室		
担当教員TEL	819-7980		
担当教員オフィスアワー	質問等ある場合は大石教員アドレス(上記参照)までEメールで連絡して下さい。		
授業のねらい	胎児・乳幼児の発育・発達について学習し、育児についての知識・技術を習得する。		
授業方法(学習指導法)	オムニバスによる講義・演習		
授業到達目標	胎児・乳幼児の発育・発達について説明できる。 育児技術を実施できる。 男女共同で育児することの必要性が理解できる。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 育児の意義・歴史</li> <li>2. 胎児の発育・発達</li> <li>3. 妊娠中からの親子のコミュニケーション</li> <li>4. 妊婦体験とマザーリングマザー</li> <li>5. 出産</li> <li>6. 新生児の能力と養護</li> <li>7. 乳幼児のからだの発育・発達</li> <li>8. 乳幼児のこころの発育・発達</li> <li>9. 乳幼児の遊び</li> <li>10. 乳幼児の病気</li> <li>11. 乳幼児の事故</li> <li>12. 乳幼児の緊急時対策と応急措置</li> <li>13. 男性と育児</li> <li>14. 女性と育児</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
キーワード	育児、妊娠・出産、胎児・新生児・乳幼児、育児技術、男女共同		
教科書・教材・参考書	毎回、講義資料を配布する		
成績評価の方法・基準等	毎回の小テスト：60% 課題レポート：20%		

	演習への貢献度：20%
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-14 健康と共生**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587006501	科目番号	05870065
授業科目名	●健康と共生II(仕事と健康)		
編集担当教員	楠葉 洋子		
授業担当教員名(科目責任者)	楠葉 洋子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楠葉 洋子, 中根 秀之, 黒田 裕美		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kusbay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科2階		
担当教員TEL	095-819-7936		
担当教員オフィスアワー	適宜(事前にメール等で連絡をすること)		
授業のねらい	仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。メンタルヘルスの危機や生活習慣病などの仕事に関わる健康問題について理解する。		
授業方法(学習指導法)	講義、演習(個人学習、グループ学習)、学習内容の発表、討論などをまじえながら学習を進める。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 壮年期の特徴について述べるができる。</li> <li>2. 仕事をするこのの意味について考えることができる。</li> <li>3. 雇用環境・労働環境について述べるができる。</li> <li>4. 仕事と生活習慣病の因果関係について述べるができる。</li> <li>5. メンタルヘルスのあり方について考えることができる。</li> <li>6. 病気をもちながら仕事を継続している人々のセルフマネジメントについて述べるができる。</li> <li>7. 働く人々の健康の実態を知り、仕事を継続する上での望ましい健康術について考えることができる。</li> </ol>		
	回	内容	
	1	授業ガイダンス、労働人口の特徴(楠葉)	
	2	仕事を持ち働くこのの意味を考える(楠葉)	
	3	雇用環境・労働環境の実態(1)(楠葉)	
	4	雇用環境・労働環境の実態(2)(楠葉)	
	5	雇用環境・労働環境の実態(3)(楠葉)	
	6	仕事と生活習慣病:糖尿病(黒田)	
	7	仕事と生活習慣病:虚血性心疾患(黒田)	

授業内容	8	仕事と腰痛、VDT作業と健康（黒田）
	9	仕事とメンタルヘルス（1）：（中根）
	10	仕事とメンタルヘルス（2）：（中根）
	11	病気をもちながら仕事を継続するためのセルフマネジメント（楠葉）
	12	働く人々の健康の実態と労働衛生（1）：（楠葉）
	13	働く人々の健康の実態と労働衛生（2）：（楠葉）
	14	働く人々の健康の実態と労働衛生（3）：（ゲストスピーカー）
	15	働く人々の健康術：サラリーマンの健康術について考える（楠葉）
	16	まとめ
キーワード	仕事、壮年期、労働環境、生活習慣病、メンタルヘルス、セルフマネジメント、労働衛生	
教科書・教材・参考書	配布資料、参考書等については適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	授業への貢献度、レポート等を基に総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-14 健康と共生**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587006901	科目番号	05870069
授業科目名	●健康と共生II(老いと健康)		
編集担当教員	井口 茂		
授業担当教員名(科目責任者)	井口 茂		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井口 茂,横尾 誠一,田中 浩二		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	2年次		
担当教員Eメールアドレス	shigeru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科3階		
担当教員TEL	095-819-7962		
担当教員オフィスアワー	火曜日 18:00~19:30		
授業のねらい	高齢者の加齢に伴う身体・心理的变化、環境への適応能力など生理的及び社会的変化を学び、高齢者に対するケアのあり方について議論していく。		
授業方法(学習指導法)	PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびに演習、ケアの現場見学、グループワーク、プレゼンテーション、討論を通じて自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の心身の変化を理解する。</li> <li>・高齢者の社会的背景を理解する。</li> <li>・高齢者に対する希有の現象を理解する。</li> </ul>		
授業内容	第1回 ガイダンス(本科目の進め方についての説明) 第2回 加齢に伴う変化と健康①(井口・横尾・田中) 第3回 加齢に伴う変化と健康②(井口・横尾・田中) 第4回 加齢に伴う変化と健康③(井口・横尾・田中) 第5回 高齢者の心理①(井口・横尾・田中) 第6回 高齢者の心理②(井口・横尾・田中) 第7回 高齢者の心理③(井口・横尾・田中) 第8回 高齢者を支える社会の仕組み(井口・ゲストスピーカー) 第9回 介護保険の仕組み①(井口・ゲストスピーカー) 第10回 介護保険の仕組み②(井口・ゲストスピーカー) 第11回 高齢者の実践活動を学ぶ①(演習及びグループワーク) 第12回 高齢者の実践活動を学ぶ①(演習及びグループワーク) 第13回 高齢者の実践活動を学ぶ①(演習及びグループワーク) 第14回 高齢者の実践活動を学ぶ①(グループワーク及びプレゼンテーション、討論) 第15回 レポート提出、まとめ ※まだ、本科目は計画の段階にあるため、内容や進め方など変更する場合がある。		
キーワード	高齢者、健康、ケア、介護保険、住民活動		
教科書・教材・参考書	特になし・必要に応じて資料を配付する		

成績評価の方法・基準等	試験（50%）、レポート及びプレゼンテーションにおける発表（40%）、授業への貢献度（10%）
受講要件（履修条件）	特になし
本科目の位置づけ	全学モジュール教育
学習・教育目標	高齢者自身が実践されている地域活動に触れ、話を聞くことでコミュニケーション能力、対人関係の取り方を経験することも目標とする。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



---

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-14 健康と共生**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587007301	科目番号	05870073
授業科目名	●健康と共生II(青年期の健康・体力増進)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹,永江 誠治,山崎 浩則		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10:30~12:30、16:00~17:00		
授業のねらい	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食生活、メンタルヘルス等について理解する。		
授業方法(学習指導法)	講義にグループワーク、討論、演習、地域イベント参加等を取り入れ、自ら考え、行動する学習方法を身につける。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。</li> <li>2. 青年期における健康づくりの意義について理解する。</li> <li>3. 精神的な健康について理解する。</li> <li>4. 健康における運動、スポーツの意義について理解する。</li> </ol>		
授業内容	回	内容	
	1	4月9日 青年期に健康を考える～医療の観点から～ 山崎浩則（保健・医療推進センター）	
	2	4月16日 青年期に健康を考える～ヘルスプロモーションの観点から～ 中垣内真樹（保健学科）	
	3	4月23日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅠ 中垣内真樹（保健学科）	
	4	4月30日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅡ 中垣内真樹（保健学科）	
	5	5月7日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅢ 中垣内真樹（保健学科）	
	6	5月14日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅣ 中垣内真樹（保健学科）	
	7	5月14日 健康のための食生活について学ぶⅠ ゲストスピーカー（栄養士）	
	8	5月21日 健康のための食生活について学ぶⅡ ゲストスピーカー（栄養士）	
	9	5月28日 健康のための食生活について学ぶⅢ ゲストスピーカー（栄養士）	
	10	6月4日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶⅠ 永江誠治（保健学科）	



	11	6月11日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶⅡ 永江誠治（保健学科）
	12	6月18日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅰ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	13	6月25日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅱ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	14	7月2日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅲ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	15	7月9日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅳ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	16	7月16日 青年期の健康・体力についてのGW・まとめ 中垣内真樹（保健学科）
キーワード	健康、体力、スポーツ、食事、メンタルヘルス、ヘルスポロモーション	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	授業へ臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表およびレポート内容を総合して評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-14 健康と共生**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587007701	科目番号	05870077
授業科目名	●健康と共生II(障害体験と支援)		
編集担当教員	東 登志夫		
授業担当教員名(科目責任者)	東 登志夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	東 登志夫, 中尾 理恵子, 杉山 和一, 北島 栄二		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	2年次		
担当教員Eメールアドレス	higashi-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科5t階		
担当教員TEL	095-849-7994		
担当教員オフィスアワー	金曜日 9:00-12:00		
授業のねらい	各種障害の疑似体験等を通して障害を理解し、その支援の必要性を体感するとともに、具体的な支援の方法について学ぶ。なかでも長崎市特有の斜面地の移動障害に焦点を当てて、その支援策について討議する。		
授業方法(学習指導法)	高齢者疑似体験セット、片麻痺体験セット。車いすを使用して、実際の障害を体験する演習や、長崎市の斜面地とその移動支援の方法を実際に視察する。さらに、実際に障害を持った方の体験を聞くことにより、障害に対する理解を深め、その支援方法について討議する。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な障害を挙げることができる</li> <li>・障害を持った方が抱えている生活障害を理解する</li> <li>・長崎の斜面地における移動障害を理解する</li> <li>・障害者を支援する各種制度の概要を理解する。</li> <li>・斜面地における移動障害を支援する具体的方法について学ぶ</li> </ul>		
授業内容	回	内容	
	1	各種障害に対する知識(東)	
	2	長崎斜面市街地の探索(杉山)	
	3	長崎斜面市街地の探索(杉山)	
	4	長崎斜面市街地の探索(杉山)	
	5	障害を持つ方の語りから障害について学ぶ①(ゲストスピーカー)	
	6	障害を持つ方の語りから障害について学ぶ①(ゲストスピーカー)	
	7	障害体験(高齢者, 片麻痺, 車いす) 東	
	8	障害体験(高齢者, 片麻痺, 車いす) 東	
9	障害体験(高齢者, 片麻痺, 車いす) 東		

	10	障害体験（高齢者，片麻痺，車いす）発表階とグループ討議 東
	11	斜面地における移動障害とその支援 北島
	12	斜面地における移動障害とその支援 北島
	13	斜面地における移動障害とその支援 中尾
	14	高齢者，各種障害者を支援する制度 中尾
	15	まとめとディスカッション 東
	16	テスト
キーワード	障害，高齢者，支援，斜面	
教科書・教材・参考書	配付資料	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションでの発表内容（20%），レポート（20%）及び最終試験（60%）にて総合的に評価。	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		

